北九州市立尾倉中学校　学校通信　第１５号

尾倉（おぐら）

＜校訓＞
自主
創造
協力

令和３年４月３０日（金）発行
校長　栗　原　博　巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目１０番１号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

＜学校教育目標＞
豊かな心をもち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

＜目指す生徒像＞
① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
② 健康で明るく、思いやりのある生徒
③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

修学旅行・進路説明会が開かれました！

４月28日（水）午後から3年生を対象に修学旅行。進路説明会を行いました。修学旅行については、プリントでお伝えしたように、新型コロナウイルス感染症拡大のため2学期に延期になっています。この日は、大まかな行程を説明しました。現時点では北九州市の中学校は9月～10月にかけて実施する予定です。

また、修学旅行説明会に続き、進路説明会を行いました。3年生といっても進路についてのイメージは人それぞれで、はっきりと夢を描いている生徒もいれば、スタートが遅くのんびり構えている生徒もいるかもしれません。ただ、生徒にとっては人生で初めての試練、選択となります。（中には中学受験を経験した人もいるかもしれません）精神的にも不安定になりがちな時期でもあります。学校でもお子様に寄り添い、できる限りのことをしていきたいと思います。ご協力をお願いします。

★☆★☆★☆★★☆★☆★☆★★☆★☆★☆★★☆★☆★☆★★☆★☆★☆★★☆★☆★☆★

修学旅行・進路説明会　学校長挨拶（抜粋）

さて、一人一人の生徒にとって、義務教育の終了後の進路実現に向け、「自分の進路をどうするのか」、「自分の進路がどうなるのか」、重大な決定をしなければならない時期となりました。単に中学を卒業したら進学する、または就職するというのではなく、これからの長い人生を展望し、「自分は将来どのように生きたいのか」、「自分の特性を生かすにはどのような職業を選べばよいのか」というようなことも視野に入れて考えてほしいと思います。しかし、人生経験が十分でない中学3年生にとっては、それにも限界があります。そこで判断をより適切に、自分の進路実現に意欲と自信をもって臨めるように、教職員・生徒・保護者の三者でお子様の進路実現を目指したいと思います。人生の進路は、中学校を卒業したときだけで決定してしまうのではなく、年代に応じて何度も「進路選択」をしなければならない場面があります。そんな時に本人がどのように対処していくかが、長い人生を有意義に生きていけるかどうかの分かれ道になるように思います。私たちは、この人生最初の進路選択との出会いで、子どもたちが学ぶことをいろいろな場面で生かしてほしいと願っています。そこで、生徒の皆さんに3点お話をします。

まず、3年生の皆さんにとって、これから3月までの約1年はこれまでに経験をしたことのないような、将来を決める進路選択の大切な時期に当たります。みなさんには未知の体験で、大きさは違いますがみんな不安な思いをもって過ごすかもしれません。でも、これは先輩も通ってきた道です。決して自分だけと思わないで、それを乗り切ってください。そのためには、進路選択で知りたい情報をきちんと得て、それをもって担任の先生などと相談していろいろなことを決めてほしいと思います。わからないことがあればしっかりと相談して、早めに悩みを解決して、自分の目標に向けて、一番大切な「学習」に取り組んでください。最後は自分の「実力」がものを言います。

次に、入試や体験入学に関する手続きのことです。体験入学や願書の出願など入試の関係書類の提出は決められたルールに乗っ取って行われます。特に期限は厳守です。自分の都合で「待ってください」は通りません。このあとの先生の説明をよく聞いて、手続きは必ずルールを守るように、余裕をもって行ってください。何度も言いますが、自分勝手の判断はだめです。わからない場合は早めに担任の先生にしっかり聞いて解決して取り組んでください。

最後に、これから行われる高校の入学試験や就職試験では人物重視ということです。例えば、面接はいくらそのときに繕ってしようとしても緊張すると日頃の生活態度が出てきます。試験だけの入試でも高校の先生は皆さんを見ています。日頃から挨拶、言葉使い、姿勢などきちんとした生活態度で取り組んでほしいと思います。これは将来社会へ出ても大変大切なことです。日頃から是非心がけてください。昨日はある県立高校の校長先生と話す機会がありました。その話でも、高校で伸びる人は「挨拶」「身だしなみ」がきちんとできているそうです。それができてからの、勉強や部活動だということを教えていただきました。

以上、三つのことをお願いしました。このことに気をつけて自分にあった進路選択を行なって、3年生全員で笑顔の15の春を迎えてほしいと思います。

新学期が始まって間もなく1か月！何かに挑んでいますか？

石川県金沢市にある星稜高校。大リーグで活躍した松井秀喜選手の母校です。その野球部の監督室に掲示されているのがこの言葉です。部室の黒板には、『今年も全国制覇に精進せよ』と書かれ、帽子のつばに部員全員が『全国制覇』と書いて、練習に、大会に臨んでいるチームです。しかし、そのスタートは心を変えることだと常に彼らは意識して取り組んでいます。

心が変われば　行動が変わる
行動が変われば　習慣が変わる
習慣が変われば　人格が変わる
人格が変われば　運命が変わる

さて、皆さんは新学期のスタートを切りました。きっと誰もが『今年こそは勉強を頑張りたい』『学級の仲間と協力して行事を成功させたい』『これまで以上に部活動で頑張って県大会に行きたい』『希望する高校に合格したい』など、夢や目標をもって登校してきたことでしょう。ただ、今年の結果で、すべてが決まってしまうわけでもありません。だから大胆に何にでも挑戦できる中学生なのです。勇気を出して、一歩前へ踏み出て行ける時期です。つまり、そうした「挑戦」を通して、自分自身に誇りがもてる一年になるはずです。そうした夢をもつこと、目標をもつこと、その夢や目標を家族や先生、友達に向かって口に出すこと、それがすでに心を変えるチャンスになっているのです。この一年、尾倉中全員が前へ歩み出し、夢に向かって挑戦し、誇りをもてる年にしていきましょう。